

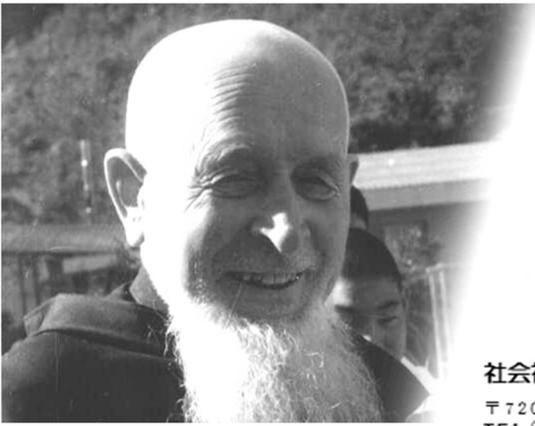
# ふれあい

2025.1.25 No.174

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

〒720-0311 広島県福山市沼隈町草深 1212  
TEL(084)987-0357 FAX(084)987-3185

発行人 寶子丸 周吾 編集 ふれあい編集委員会  
題字 大楽 華雪



## 理事長就任 10年を迎えて

理事長 寶子丸 周吾

前理事長・繩手 建 氏が2014年6月6日に逝去され、後任として2014年9月1日より「ゼノ」少年牧場の理事長として大任を拝することとなって10年の月日を重ねました。この10年間、私なりに取り組んできたことを振り返り、今後につなげていきたいと思いま

す。  
2014年9月に理事長に就任し、まず取り組んだことが人財確保のための組織改革とハートフルフォーラム、子どもの未来応援プロジェクトとしての「未来も笑おうプロジェクト」、そして財政健全化のための取り組みとして、積立金の本部一括管理体制と2040年までの設備投資に係る資金の中長期計画の策定です。

人財確保については、繩手前理事長のお別れの会で弔辞を述べた時、多くの参列者が駆けつけてくださる中、『「ゼノ」少年牧場が限

りなく前進し、歩みを止めることなく、誇りをもって、社会保障という地域や国を支える社会福祉法人として歩み続けることのできる経営基盤を作り上げていきます。』と豪語してしまったことから、内心何から手を付ければよいか悩んで、取り組み始めたのが「人財の確保」でした。

経営基盤という言葉を使ってしまったので、人・モノ・金について、持続可能な仕組みを作る必要があると考え、社会福祉という仕事において一番に重要な力を握っているのは、「優秀な人財」が組織の中で持続的に活躍できていることが大切であると考えたからです。

手探りの中で取り組んだのが、大学回りと現地説明会の開催と組織改革でした。10年前は、計画的に人財を確保していくために必要な作戦を練るための部署や手法、ツール等、全て0からのスタ

ートであったと記憶しています。まず大学回りをして、神戸や大阪・京都等、学生の集まる地域に足を運び、その地で単独の就職説明会等を企画してみたり、東京まで足を運んで就職イベントに参加する等に取り組みました。0からのスタートであったため、イベントを開催しても参加してくれる学生は0人という悲惨な結果になつてしまい、関係者に迷惑をかけたしまった取り組みも多くありました。組織改革では、「人財企画室」という部署を立ち上げ、責任者を配置し、若手の者も一緒に人財確保について取り組めるようにしました。近隣の社会福祉法人にも呼びかけを行い、山口県や九州まで足を運んで学生の獲得に力を注ぎました。

そして、もう一つ取り組んだのが、障がいのある人が活躍している姿を世の中の多くの人に見てもらい、障がいのある人に対する理解を深め、偏見をなくしていく活動としての『ハートフルフォーラム』の開催でした。

第1回目は、東田直樹さんとお母様を招いて講演会を企画しました。我々、障がい福祉の分野

で働く者は毎日のように利用者さんと顔を合わせて会話をし、障がいのある人と過ごすことが日常となっているため、気づいていないかもしれないが、一般の人は「自閉症」の人や「知的障害」「精神障害」と名称を付けられて呼ばれている人(※名称を付けて、一般の人と区別して法的に支える仕組みを作るには仕方のないことかもしれない)が、名称を付けて区別することが偏見にもつながる一つの要因であることは理解しておく必要があると思つています。このため、なるべく「〇〇障害者」等という名称を使用しないで「障がいのある人」と表現できるようにしたり、『医療的ケアの必要ない人』を「医療的ケア」という名称で表現するようにはなるべくくしないようにしています。)と接する機会が、我々が思っている以上に少なく、知らなかったり、どうやって接すればよいかわからない人が多いと思つたことから、多くの人に障がいのある人が活躍している生の姿を見てほしかったのです。結果としては、この仕事と無関係の人がフォーラムに参加していないような気がして……、目的を達成でき

ているかはわかりません。

「未来も笑おうプロジェクト」は、子どもの貧困や孤立が社会問題化する中で、社会課題に対してアプローチすることの大切さや「ゼノ」がこれまでの歴史で子どもへの夢や未来を支える法人として発展してきたことを大切にしたという思いで始めました。これも0からのスタートでしたので、若手の職員と経営企画室の職員で現在も責任者として動いていただいている佐藤施設長を中心に活動内容を考えて、事業の名前の「未来も笑おうプロジェクト」を考えるとこれから手探りで始めたことを思い出します。

人財の確保を重点課題として取り組んできましたが、年々その厳しさが増して、子どもの減少、広島県からの人口流出等、数字を確認すればするほど2025年、2040年という先の姿に危機感を感じることはできなくなり、2017年から外国人の採用について考えるようになりました。

初めは、EPAや技能実習生等の既存の制度を利用して外国人を採用していくことから始めました。2人から3人の外国人を受

け入れて、共に働くために必要なことを少しずつ準備していくつもりでしたが、結果としてEPAも技能実習生も獲得できた外国人の方は0人。既存に用意されている「介護分野」の制度では、障がい分野で獲得することは困難であることがわかり、直接海外で人財を育成し、獲得することに挑戦することとしたのが2018年でした。

フィリピンやラオスなどにも足を運び、街の様子、国の様子、人の様子を観察し、結局、ベトナムのダナン市で活動することを決めたのが2019年でしたが、コロナの流行によつて現地での活動ができなくなり、本格的に活動を再開できたのは2021年になってからでした。

次に取り組んだことが、経営に欠かせないお金のことです。一番初めに取り組んだことは、企業型確定拠出年金の導入でした。2014年理事長になったその年に導入することを決めて、指示を出しましたが、資産運用等に抵抗があったのか？話がなかなか前に進まなかったのを記憶しています。

企業型の確定拠出年金は、取り組んでいる法人の費用削減にもつながり、働いている職員の退職

後の資産形成を法人が応援することのできる制度なので、法人・職員双方に大きなメリットのある取組だと認識しています。現在は、93人の職員が企業型確定拠出年金で毎月の積立を行い、法人も年間約160万円の経費削減につながることができるようになりました。加入者が増えれば増えるほど法人の経費削減につながることで、多くの職員さんに加入してほしいと思つています。

お金のこともう一つ取り組んだのが、積立金の本部一括管理体制への転換と2040年までの設備投資に係る資金の中長期計画の策定です。設備整備のための積立金や人件費積立といった積立金は内部留保されていましたが、これは、施設ごとに管理をされていて、経済的に潤沢な事業所は将来への備えができていても、赤字であったり、制度に乗っていないくても社会課題に向き合い取り組む必要のあるものに対して、「法人主体」で何ら一つも計画をできない体制であったことがきっかけでした。人財の確保をするために必要な資金を捻出するためには、理事長は経済的に潤沢な事業所の施設長に頭を

下げて、「法人に〇〇円くらいのお金を貸してくれないか？」と許可を得る必要があったのです。1年毎に法人全体でどれくらいの積立金を計上する必要があつて、いづれくらいのタイミングで大規模修繕や施設の改築を計画する必要があるか。車は何台あつて、車を順次更新していくには毎年どれくらいの経費が掛かるか？これから、1年毎にどれくらいの職員が定年退職を迎えることとなり、そのタイミングでどれくらいの人員を採用する必要があるか？これらを一つ一つエクセルに落とし込んで、簡単な中期資金の使途計画を策定したことを思い出します。

また2020年からは、自分が理事長の職を辞しても次の世代が困らないようにするために資産運用に取り組むこととしました。少子高齢化は進展し、人口が減少し続けます。人口が減少することの影響は、国力・国の経済力にもつながらり、最終的に我々の生活や法人の経営にも大きく影響のある課題です。加えて、物価等は、原則的には右肩上がりです。上昇していくものだと理解しています。これ

らのことに対応していき、法人の資産を守ったり、物価高騰に対応したり、国の財政が怪しくなると報酬が引き下げられたりしても法人を守っていくには、資産運用を長期に行い経済基盤をしっかりとしたものにして、補助金などに頼らなくてもよい状態にする必要があると考えたからです。

2020年度の決算報告では、法人の利息配当収入が13,500円という金額で、個人的に資産運用をしている私の年間の利息配当収入と比べても、はるかに低い金額であり、個人が努力しているのに法人は努力しなくてよいのか？という疑問が強くなり、まずは資産の分散から始めたのを覚えています。

2022年度の決算では、利息配当収入が2,700,000円、2023年度には3,400,000円。少しずつ資産運用の成果が出ています。

10年後には1,000万円、20年後には2,000万〜3,000万円。利息配当収入だけで財源を確保することで、補助金に頼らない、物価高騰に対応する基盤を作りたと思っています。

2015年〜2016年には、松永東保育所の福山市からの民間移管に応

えて、施設整備を行い、運営を開始しました。2019年には、就労支援事業でフィットネスジムIGOCASを開設し、「高齢化する地域の課題」と「障がいのある人達の働くフィットネスジムに地域の方々を運ぶ形で、地域社会と障がいのある人たちの共生社会に貢献する」という2つの課題にアプローチする取り組みを開始することもできました。

これからの10年は、やはり人口減少に対してどのように取り組むかが法人の持続的な経営の鍵になると思っています。外国人財を受け入れるだけでなく、育成をどのように進めるか？ベトナムだけで取り組みは十分であるか？日本人の若者を獲得できる術は限界なのか……？

まだ、もう少しやっておかなければならないことが多くありますが、これからの世代を担う若い施設長を中心に未来を予測しながら今できること・今やらねばならないことを一緒に考えて計画できるようにしていきたいと思っています。

Italian gelato  
Arocogiano

イタリアンジェラート  
アルコジャーノ

イベントへの出店、移動販売のお問い合わせ、  
ギフトなどのお申込は下記までご連絡下さい。

お問い合わせは  
こちらまで **084-960-2256**

製造・販売 / ゆめサポート・バク

www.arocogiano.jp アルコジャーノで検索



# ベトナム出張〜活気あふれる現地を訪れ〜

ゆめの木・わかば 施設長 山根 慎太郎

11月27日より寶子丸理事長・川元施設長(あかつき)・馬屋原副主任(やまびこ学園児童部)・山根にてベトナムへ出張し、ゼノが現地で行っている日本語教室への見学、日本語教育や日本で働くための知識・技術を学ぶ学校や送り出し機関として経営をされている会社エスハイとの業務提携や、ゼノがカウンターパートとしてご協力いただいているベトナム障がい者・孤児等保護協会のイベント参加及び施設の視察、ベトナムと日本文化



を繋げたいという想いから設立された越日学校との連携協議を行いました。

初日は、当法人が運営している現地での日本語教室にて、日本語を学び始めてまだ数ヶ月の学生達の：いずれ日本で働きたいという熱い想いにふれ：理事長自ら教壇に立ち、質問を投げかけ合う積極的な授業と交流を行いました。

2日目は、送り出し機関エスハイとゼノが業務提携を行い、お互いの強みを活かした人材育成を展開する事を話しました。午後からは、ベトナム障がい者・孤児等保護協会のイベントにご招待頂き、様々な障がいのある方々8団体による歌や踊りのパフォーマンスを観覧しました。

3日目は、越日学校に訪問し、実際の日本語学習や日本の文化及びスポーツ等の指導をして頂きたいという要望を伺いました。午後からは、先日のベトナム障がい者・孤児等保護協会が運営する縫製工場と服飾工場・パン工場の施設を視察させて頂きました。

縫製工場では、古着の端切れを縫い合わせウエスにする作業を見

学し、黙々と作業に励んでおられる様子を視察。次に服飾工場では、聴覚に障がいのある方々が制限のホームの素敵なユニホームを作つて頂き受け取りに行きました。最後にパン工房にて、本場のバインミーを試食させて頂き、その美味しさに舌鼓を打ち、ぜひバインミーの作り方を教わりたいとお願いした場面も見られた視察となりました。

今回の出張で私は多くの方々と触れ合い、笑顔を絶やさず他国の私達に線を引く事なくウエルカムな姿勢で距離を縮めて下さる優しい風土を体感しました：わかばで働くベトナムの方に私達が合わせていると思っていた私は間違っており、ベトナムの方も柔軟な対応で私達に合わせてくれているのだと痛感しました。

これらの根源にあるのは何なのだろうと考えていた時、送り出し機関エスハイのソンス長の「リズム感」という言葉に答えをみた気がします。バイク等が絶え間なく行き交い四六時中クラクションがなる激しい交通事情を：私はせわしなく危ないと見えていました。しかし実はそうではなくこの流れをリズムの中で自然に行つており、早い段階からクラクションを鳴らす事でこちらの存在を教える優しさやお互い様の配慮があるからこそ、激しい交通事情でもぶつかると事がないのだと知りました。この感覚は今回ベトナムに行かなければ



ば解り得ない貴重な学びでした。これらを通じ今ゼノで働くベトナムの方々の頑張りの原動力を垣間見る事ができ、引き続きベトナムとゼノを共に盛り立てていきたいと気持ちを新たにしました。

追伸

「ラッゴーン」

これは「とても美味しい」というベトナム語です。ベトナムの食文化は日本人の嗜好に合う、とても美味しいものでした。なので：何度もこのラッゴーンを言葉にするのです：結局、滞在中：1度も通じる事がなく帰路したのでした(私の発音では聞き取れないようです：涙)

# ベトナム滞在中の様子

(2024.11.27~12.4)



NGOZENO 日本語教室の様子



障がい者週間のイベントの様子



障がい者就労施設（縫製工場）



越日学校との会議



障がい者就労施設（縫製工場）



障がい者就労施設（縫製工場）

# 外国人職員向け学習会

国際事業部 国際業務担当事務員 松本 浩明



現在の「ゼノ」少年牧場には、「特定技能」の在留資格によって働いている職員が21名います。彼らの日本語学習歴は様々で、日本の日本語学校で1年間程度しか

勉強した方もいれば、「技能実習」などで来日した際に1ヶ月程度教育を受けた後、ほとんど勉強する機会がなかったという方もいます。そのような状況の中、「日本語を学び、仕事に能力を発揮して欲しい」「介護福祉士を目指して



欲しい」という思いから、今年度より『外国人職員向け学習会』を実施しています。

実施しているクラスは3つあります。①初級クラス（参加者：15名、月2回）、②中級クラス（参加者：5名、月1回）③介護福祉士クラス（参加者：2名、月1回）※中級クラスと介護福祉士クラスの両方に参加している方が1名います。また、これらのクラスの講師は国際事業部の職員だけでなく、理事長や事業所の職員も務めており、法人全体で「外国人職員の日本語力の向上」に取り組んでいます。学習会では、集中すべきところには真剣に取り組み、講師の経験を交えた仕事に関する話には笑いがあつたり、質問があつたりと、それぞれの学ぶ意欲が感じられます。

今後、社会の変化にとまどない、様々な背景がある職員と共に仕事をやる機会が増えてきます。それぞれ強みを活かして利用者さんを支えられるよう努力していきたいと考えています。とりわけ外国人職員には、まず日本語の習得をサポートすることで、本人が持っている能力を仕事に発揮してもらいたいのです。

（この文章は上記の逆順で記載されています）



吸い取り抜群！  
上質ウエスを販売しています

お問い合わせはこちらまで  
**084-960-2256**  
製造・販売 / ゆめサポート・バク  
広島県福山市神辺町東中条 7301-6



サンプルを持ってご説明に  
うかがわせて頂きます。

旬の食材いっぱい!!  
**旬** バクの手作り弁当

バクの手作り弁当は毎日食べても飽きない家庭の味。  
旬の食材を使用し、栄養バランスを一番に考えた手作り弁当です。



100%  
国産米

日替わり手作り弁当

**530**円(税込)

お弁当注文と  
お問い合わせは  
こちらまで **084-960-2256** 製造・販売 / ゆめサポート・バク  
広島県福山市神辺町東中条 7301-6

# 松永東保育所 季節の行事



## 感動の運動会

児童発達支援ワーカー

前岡 佐衣子

松永東保育所では10月5日に運動会を開催しました。

今年是一年長クラスのぞう組の担任を務めさせていただき、運動会では組体操、リレー、竹馬など色々な競技に挑戦しました。その中でも、竹馬は春から取り組み、毎日練習を重ねました。

初めは竹馬に乗ることが難しく親指と人差し指の間の皮がむけ頑張り豆がたくさんできました。それでも「痛くても乗れるようになりたい」という気持ちで練習を続けるぞう組さん。早い子は夏ごろには3段が乗れるようになり、お友達の竹馬を持つたりコツを教えてあげたりして一緒に練習をする優しい姿が見られました。

本番1・2週間前になると今までなかなか乗れなかった子が1人



また1人とどんどん3段に乗れるようになり、それを見た他の乗れなかった子も影響を受けたのか「3段でやってみる!」と言い、やってみると本当に乗ることができ、子どもたちの団結力や子ども同士での影響力に驚きました。

本番ではトラックを1周し終わった子たちは待っている間も頑張っている子を見て「がんばれー!」と応援し、保護者の方にもたくさん応援をいただきみんなが最後まで諦めずに頑張っている姿、周りの方の優しい気持ちで涙があふれそうになりました。

今回の運動会では自分だけが出来るようになればいい、ではなくみんなを力合わせてできるよくなるという年長ならではの頑張りをいることができ感動の運動会になりました。

## 楽しかった秋の遠足

児童発達支援ワーカー

濱中 茜里

秋の遠足の日が近づくにつれて、ソワソワした子どもたち。「遠足の日はお弁当を持ってくるんだよねー!」と楽しみで仕方がない様子がたくさん見られました。

秋の遠足当日になるとバスの中ではワクワクが止まらない子どもたちが♡バスでレクリエーションを楽しんでいるとあつという間に福山市立動物園に着きました。友だちと手を繋いで動物園へ歩き出すと「何がいるかな?」とワクワクが止まらない様子。いよいよゲートをくぐり、それぞれのクラスで園内を周り始めました。ぞうやトラ、カピバラなど色々な動物を見に行きました。ぞうが「パオーン!」



と鳴いている場面を見ることができたり、間近にトラが来てくれたりなど、たくさん貴重な場面を見ることができました。少し怖いなと感じながら動物を見る子や「すーい!」と目をキラキラさせて動物を見る子など、子どもたちの反応は様々でしたが、一人ひとりがとても楽しんだ遠足となったと思います。

お昼には、保護者の方が作ってくれた美味しいお弁当も食べ、とても充実した1日となりました☆  
年長のぞう組さんは動物園を楽しんだ後、隣にある大きな公園でたくさん身体を動かして遊びました。普段遊ぶことができない遊具で友だちと一緒に全力で楽しんでぞう組さんです!何度来てもワクワク、ドキドキする動物園!とっても楽しい1日になった秋の遠足でした!

# 認定こども園ゆめな 秋の行事



## 運動会

児童発達支援ワーカー  
橋本 菜々穂

10月19日にゆめな運動会が開催されました。当日、年長児のマーチングから運動会がスタートするという時に天気が悪くなり雨が降り出しました。急遽ホールでの開催に変更しましたが、マーチングだけは小雨を狙って園庭で披露することができました。

雨が降る中、子どもたちは当日まで頑張ってきた練習の成果を精一杯に出しきった演技ができたと思います。その後のホールでの演技では、広さも十分ではなく練習とは違った場所ではあったのですが、保護者の方にかっこいい所を見てもらおうと頑張る姿や、練習以上に力を出す姿が見られ、感動しました。

年長児にとつては最後の運動会で、子どもたちは毎日の練習に弱音を吐くことなく、「組体操の練習はいつするん?」、「今日マーチングの練習したい」と言う姿もあり、子どもたちの頑張りに私自身も毎日励まされていました。最後の運動会を終え、また一つ成長した子どもたちと次の行事に向かって

進んで行きたいと思います。



## 遠足

児童発達支援ワーカー  
桑原 真衣子

子どもたちにとつての一大イベント、秋の遠足。練習から本番まで一生懸命頑張った運動会も無事終わり、頭の中は「えんそく!」待ちに待った当日、朝からウキウキで登園してきました。また保護者の方に用意してもらったお弁当を大事に抱え嬉しそうなお子どもたちの表情。保護者の方に見せてあげたいくらいでした。

園外ということで色々な約束を子どもたちに伝え、ワクワクとドキドキの気持ちでいざ出発! 動物園内では「しまうまみたい!」「きりんがいい!」「らいおん、おきと



るかなあ。いつもねとるよね」など、次見る動物を楽しみにしたり、動物を見て気づいたことや不思議に思ったこと面白いしぐさなどを話しながら楽しく周ることができました。遠足で普段目にしない動物を見て楽しんだり、園外でのマナーを守るこの大切さを学びました。

遠足の思い出を表現できたらと、年中児クラスで動物園の壁面を作りました。印象に残った動物を描いたり、動物園で見学している自分を作り、とてもかわいい壁面の完成です。  
見たことがある動物でも友だちと周れば、見方も発見もいつもとは違い、いつもは感じないことを感じ、面白さも倍になっていることが表情から感じられた遠足になりました。

# 0・1・2歳児発表会

児童発達支援ワーカー

大善 由里

12月7日に0・1・2歳児の発表会がありました。たくさんの方の来園していただき、ワクワクドキドキの中、発表会が始まりました。子ども達は日々の生活の中でのあそびや様子を見てもらいました。

0歳児も組は、衣装を着て登場するだけでとてもかわいく、みんなの気持ちも癒されました。

1歳児ちゅうりつ組は、バスや車に乗って登場！緊張しながらも踊ったり、音楽に合わせて身体を動かしたり、楽しむことができました。

2歳児ゆり組は、なりたい役になりきり、元氣よくマイクに向かって名前を発表することができました。控え室で泣いていても、舞台上になるとしっかりと発表できたり、衣装を着るとやる気も出て普段の練習よりも大きな声が出たりと、子ども達の力には驚かされました。

できたことが嬉しくて、みんな自信がつき、輝いた表情に変身です。緊張する表情や、おうちの人に見てもらえて嬉しい表情、やり

きった表情、一日の中でさまざまな表情が見られた日でした。また、来年度の発表会でもっと成長した姿を見られるのが楽しみです。



幼保連携型  
認定こども園

## ゆめな

入園を考えておられる方、入園相談、施設見学を随時受け付けております。気軽にご連絡ください。

〒720-0311  
福山市沼隈町大字草深字将木角2119-6  
TEL 084-987-2200 FAX 084-987-5600  
<https://www.zeno.or.jp/yumena/>



# こぼと園 みかん狩り遠足

副主任／聴能言語訓練担当 兼為 文



去年から再開したこぼと園児みんなそろつての遠足を、今年も11月12日に行うことができました。

朝からみんなで大型観光バスに乗って因島へ出発。バスの中では、先生やお友だちとみかん狩りのお話をしながらドキドキワクワクしていた子どもたち。途中、因島大橋からは、きれいに晴れた青空と、きらきら光る海を見ることができました。海の中に船を見つけては「大きい船見つけたよ！」とみんなで盛り上がりました。

みかん園に到着すると、係のおじさんからみかんのとり方を聞き、その後、子ども達も自分ではさみを使って木になつているみかんをとって食べました。自分の手でとった

みかんの味は格別で、その場でおいしくいただくことができました。また、お家の人へのお土産にと、一生懸命おいしそうなみかんを探して、お土産袋に入れているお友だちもいました。

みかん狩りが終わると、近くの公園へ移動して、お弁当の後、公園遊びとなりました。公園では真っ白な恐竜の像に驚いたり、大型遊具で遊んだり、子どもたちが元気いっぱい遊ぶ姿や保護者のみなさんの笑顔もたくさん見ることができました。

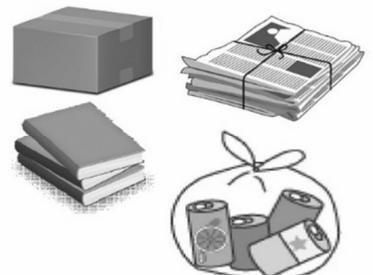
日頃はグループでの活動が中心ですが、こぼと園全体での行事だったので、色々なお友だちと関わり合いながら楽しく過ごすひと時となりました。みんなの心の中に楽しい思い出が一つ残ったことと思います。



新聞・雑誌・ダンボール・空き缶  
無料回収いたします

お問い合わせは  
こちらまで

TEL(084)987-5810



ゆめの木・わかば / 日中部門

福山市沼隈町大字草深 1694-1

# 2025 年度採用予定者の内定式挙行

法人事務局 事務局長 池田 真吾

全く秋を感じさせない暑さが続いた昨年10月1日、2025年度採用予定者の内定式を挙行しました。開催当日は4名の内定者を迎える予定でしたが、残念なことに1名が体調不良で出席が叶わず、最終的に3名の方をお迎えしての開催となりました。

式が始まると、理事長から内定者一人ひとりへ内定証書が渡されました。その厳粛な瞬間、内定者たちは緊張感を隠せませんでした。理事長の温かな言葉に



触れて安堵の笑顔を見せていました。その続きとして、理事長からは新たなゼノの一員たる内定者たちへの期待と祝福の言葉が述べられました。

つづいて、「ゼノ」やまびこ学園成人部の玉川さんが内定者の皆様へ歓迎の挨拶を行いました。玉川さん自身の入職当初の経験を共有し、期待や不安を感じておられる内定者に向け「ゼノには皆さんを支えてくれる先輩たちがいるので、安心して頼って欲しい」と応援のメッセージをおくりました。

本来であれば、その後に内定者代表者からのご挨拶を予定していましたが、先述のように欠席の運びとなったことから、私とその挨拶文を代読させていただきました。そのなかには、当法人に採用された喜びを感じるとともに、社会人への一歩を踏みだそうとする強い意志の存在を感じ取ることができました。

内定式終了後には、内定者同士がリラックスして交流できる時間が設けられました。その姿から若さのエネルギーを感じ、また私たちもあの頃の初心を取り戻すこ

とができました。現在、全国的に労働力が不足しているなかで、当法人を選んで共に働きたいと思ってくださった内定者の皆さんには、深い感謝の意を表します。皆さんの期待に応え、新たな挑戦へと進むその日ま

で、私たちは一丸となってより良い職場環境作りに全力を尽くして参ります。



# 沼南のど自慢大会に参加しました！

JOBプラスはんど 就労支援ワーカー 矢野 祥子

2024年11月24日 想青学園にて「沼南のど自慢大会」が開催されました。

この大会は、これまで8月に行われていた「ひびき祭り」に次ぐ沼隈地域の新たなお祭りとして沼隈内海商工会青年部が主催し、今年度初めて行われたイベントです。

私たちJOBプラスはんども揚げたてのメンチカツやコロッケの販売で参加し、多くのお客様にご好評いただきました。さらに、私とはんどの女性利用者さんがのど自慢大会に参加しました！事前にフィットネスIGOCASでこの参加をお知らせしていたところ、当日は、多くの会員様が特製のうちわを作って応援に駆けつけてくださいました（写真の掲載許可はいただいております）。

今回ののど自慢大会は、沼隈地域の一員、「ゼノ」少年牧場の一員として町を盛り上げたい、舞台上で歌うことで皆さんに少しでも元気を届けることができれば、という

想いで参加を決めました。また、当日は私のラッキーカーラーである黄色を基調とした着物を着用し、その姿を会員様や多くの方に「素敵だね！」と褒めていただけたのも嬉しい出来事でした。歌ったのはゴダイゴの「銀河鉄道999」。結果は優勝とはなりませんでしたが、大変貴重な経験となりました。

私は2024年の3月に入社したばかりの新参者ですが、フィットネスIGOCASの会員様には「様子先生」と親しみを込めて呼んでいただき、日々、皆さんの温かさを感じています。

これからも地域のイベントには積極的に参加しながら、「ゼノ」少年牧場の一員として、地域の皆様や利用者の皆さんの心と体の健康をサポートする活動をIGOCASで進めていきたいと思えます。



はんど made のお店

## manomano

まあの まあの

連絡先

広島県福山市沼隈町草深 2133-1  
TEL 084-980-7002

全て手作り!こだわりの・・

メンチカツ —— 120円  
コロッケ —— 80円  
ハムコロッケ —— 100円  
自家製野菜天ぷら —— 時価



製造・販売/ JOB プラスはんど

# Come 叶夢ハウス（カムカムハウス） 2024活動報告

あした  
未来も笑おうプロジェクト 佐藤 勝則

2024年春、障がい福祉分野では「本人への意思決定支援」を問われるようになりました。考えてみれば、私たち人間が生きていく上ではごく当たり前のことです。朝起きて、今日はどんな服を着ようか？お昼は何を食べようか？等々、私たちは毎日自分で選択して生活をしています。その毎日の経験の積み重ねが意思決定につながっていきます。支援者である私たちは、障がいのある利用者の皆さんの想いを引き出すためにいろいろなアプローチをして、意思決定につながっています。

さて、前置きが長くなりましたが、カムカムハウスに参加してくれている子どもたちはどうでしょうか？1〜2年前から、高校を卒業して働きだした子どもたちがカムカムハウスも卒業して、新しく保育園児や小学校低学年の子どもたちが増えてきました。

カムカムハウスは、この7年間で「子どもや保護者の居場所」になれてきたと思いますが、子ども

たちの様子を見ていますと、遊びや学習、友達作り、進路等々、多くのことについてまだまだ経験不足を感じます。月2回の開催ではなかなか補えないことではあります。子どもたちとの関わりの中で私たちスタッフが役割分担をし、遊びや創作活動、調理や何気ない会話を通じて、子どもたちの想いを探し育てている最中だと感じています。

子どもたちには、毎日の生活の中で自分の気持ちを大切にし、いろいろな場面において意思決定出来るようになってほしいと願っています。

先日、新聞に中学生のこんな投稿が載っていました。「子ども食堂は生活に困っている子どもが来る場所だと思いませんでした。でもそうではなくて、子ども食堂が子育て世代の息抜きや、生活に困っている人と行政をつなぐ場であることを知りました。」「子ども食堂には、いろんな人が自分の力を1%ずつ持ち寄ることが大切。余った食料を持ち寄ったり、子どもに勉強を教えたり、みんなの力

が集まれば、単なる足し算以上の大きな力が発揮できるはず」と。まさにその通りであり、私たちが子どもたちに相談してもらええる大人であることが大切だと感じています。

「おはよう！」  
今日も、子どもたちの元気な声が調理場に響きます。  
さあ、カムカムハウスの始まりです。



FITNESS IGOCAS  
【スタジオエクササイズも色々】  
エアロビクス、ZUMBA、  
KaQiLa、YOGA、太極拳、  
HIITトレーニング etc

連絡先 広島県福山市沼隈町草深 2027-1  
TEL 084-966-3790 instagram igocas101

# あいサポートアート展を通して

あかつき 就労支援ワーカー 戸梶 美紀

11月から12月にかけて、あいサポートアート展が開催されました。あかつきで最初に作品を応募したのは3年前でした。コロナ禍に制作活動の時間が増え、作品も増えていくにつれ職員の間で「もっとみんなに見てもらいたい利用者さんの自信に繋がってほしい」との思いが強くなり、応募してみることにしました。

最初の年は、職員が下絵を描いて貼り絵を作りました。初めての応募で「応募したら展示してもらえらるだろう」と考えていましたが、



審査結果「落選」の通知があったときは考えが甘かったことを感じました。2年目は利用者さんにより「動物」をテーマに描いてもらい、1枚の模造紙に貼って作品を作りました。それも残念ながら落選してしまいました。3年目の今年は、利用者さんそれぞれの個性が出て尚且つウエス部門らしさも出て目を引く作品を考えました。

ウエス作業から出るボタンの廃材と紙粘土を使って利用者の皆さんの発想で自由にボタン付けて1つの作品に仕上げ、作品名もみんな考えて「海と空と雲と」に決めました。期待もありつつ「今年もダメかな」という思いもありつつ結果を待つていましたが、今回は「審査を通過しました」との通知があり、思わず「え!!」と大きな声が出てしまいました。すぐに利用者さんに報告し、皆さん笑顔になられたのを見て「続けてきて良かった」と自分の達成感にも繋がりました。

ふくやま美術館で展示が行な

われた時には利用者さんと一緒に観に行きました。5mくらい大きな作品など個性的な作品が並び、あかつきの作品を見つけた時の感動は今でも忘れられません。利用者さんも「あった!」と笑顔で自分達の作品を観たり「これ私で作ったよ。」と話しているのを見て、私達が感じた感動を皆さんも感じてくれていると思うと、嬉しい気持ちがいよいよ大きくなりました。利用者さんの『楽しい・嬉しい』が少しでも増えるように、来年も引き続き取り組んでいきたいと思っています。



家族みんなの



## ほのぼの石けん

私たちあかつきが販売しているほのぼの石けんは、  
パームヤシオイル100%の無添加でまっ白な固形石けんです。  
皆さま安心しておつかい下さい。

+++++++  
+ 10 +  
+ 180g +  
+ 180円 +  
+++++++



◎贈答用で箱入りも  
注文承っております。

あかつき  
福山市神辺町八尋951-4  
TEL: 084-965-0735  
FAX: 084-965-1595

# 私のほっこり日記



ベトナムでは新年のお祝いは旧正月に行なわれ、日本と同じようにお世話になつて居る方や親戚の方々等にご挨拶伺います。ちょうど正月期間にベトナムへ赴任中の私と部長は、ある家族にお招きいただき、旧正月を共に過ごす機会をいただきました。

ご自宅に伺うと沢山の方々にお迎えいただきました。兄弟姉妹はもとよりそのお子さん、ご結婚された相手のご家族やご近所さんまで入り交じり、正直なところ誰が誰やら覚えきれず、ただただ色んな意味で大家族だなと感じていました。

一番小さなお子さんは生後10カ月程でまだよちよち歩き。抱っこさせてもらいましたが、やっぱり知らないおじさんの顔を見て泣きじやくります。部長も何度かチャレンジしていましたが、小さな人見知りなお年頃の子にはなかなか打ち解けてもらえませんでした。ですが、我々をお迎えいただいた沢山のご家族やご近所の方々は、その子を見てはひよひよい抱き上

国際事業部 副主任 高橋 潤

げ、その子も当たり前のよう笑顔で抱かれていくのです。旧正月やイベントがあるときだけではなく、離れて住んでいても寄り合つては近況を語り合い、普段からどこの子であつても分け隔てなく同じように育て合つている家族の姿は、文化の違いだとは一言ではいえないとても大切なものにふれさせていただき、心が温まる思いでした。

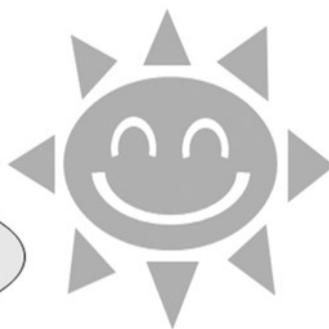


ふんわりとしたやわらかいパンは  
いかがですか？町内会行事や学校行事などの  
特別注文も承ります。  
お気軽にお問い合わせください。

！！無料配達承ります！！

焼きたてぱん

ベーカリー  
Paku・Paku



社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 あかつき  
ベーカリーPaku・Paku  
広島県福山市神辺町八尋951-4  
TEL・FAX084-965-0742

## 総合福祉施設を形成するZENOGグループ

- 入所系施設
  - 【障害児入所施設】「ゼノ」やまびこ学園児童部
  - 【障害者支援施設】「ゼノ」やまびこ学園成人部、「ゼノ」なごみの家
- グループホーム
  - 【共同生活援助事業】
    - 〈沼隈地区〉
    - 「ゼノ」Home 青雲、「ゼノ」Home 白雲、「ゼノ」第3ホーム
    - 「ゼノ」あじさいホーム、「ゼノ」Home らん、「ゼノ」第2ホーム
    - 「ゼノ」わこうどホーム、「ゼノ」さくらホーム、「ゼノ」Home おおぞら
    - 「ゼノ」Home 銀河、「ゼノ」Home ジュピター、「ゼノ」Home 虹
    - 「ゼノ」第1ホーム、「ゼノ」第6ホーム、「ゼノ」ホームひだまり
    - 「ゼノ」Home 大地、「ゼノ」Home 太陽、「ゼノ」Home 未来、「ゼノ」Home 輝
    - 「ゼノ」ホームなごみさちの里、「ゼノ」ホームなごみふくの里
    - 〈松永地区〉
    - 「ゼノ」Home 翼
    - 〈神辺地区〉
    - 「ゼノ」ホームたびあ、「ゼノ」ホームゆの、「ゼノ」ホームひまわり
    - 「ゼノ」ホームそよかぜ、「ゼノ」ホームせせらぎ、「ゼノ」ホームこもれび
- 居宅系事業
  - 【居宅介護事業】生活支援センターほほえみ、ケアサポートひなた
- 通所系施設
  - 【障害福祉サービス事業多機能型事業所】
  - ゆめの木・わかば、JOBプラスはんど、あかつきゆめサポート・パク
  - 【児童発達支援センター】「ゼノ」こぼと園
  - 【放課後等デイサービス】
  - 放課後児童デイサービスセンターがくぷく
  - 「ゼノ」こども広場まつなが
  - 放課後児童デイサービスセンターらいず
  - 【認定こども園】幼保連携型認定こども園ゆめな
  - 【保育所】松永東保育所
- 相談支援事業
  - 【相談支援事業】「ゼノ」こぼと園相談支援事業所
  - 相談支援事業所「ゼノ」からっと、相談支援事業所ほっぷ
- その他
  - 【診療所】「ゼノ」診療所
  - 【地域における公益的な取組】
  - 「未来も笑おうプロジェクト」Come 叶夢ハウス
  - 【外国人育成・確保事業】国際事業部

